

第 14 回岐阜市新型コロナウイルス感染症対策本部会議 次第

日時 令和 4 年 7 月 15 日（金）午後 5 時 45 分～

場所 庁舎 6-1 会議室

1 発生状況について

資料 1

2 岐阜県の対応について

資料 2

3 岐阜市の対応について

4 その他

【配布資料】

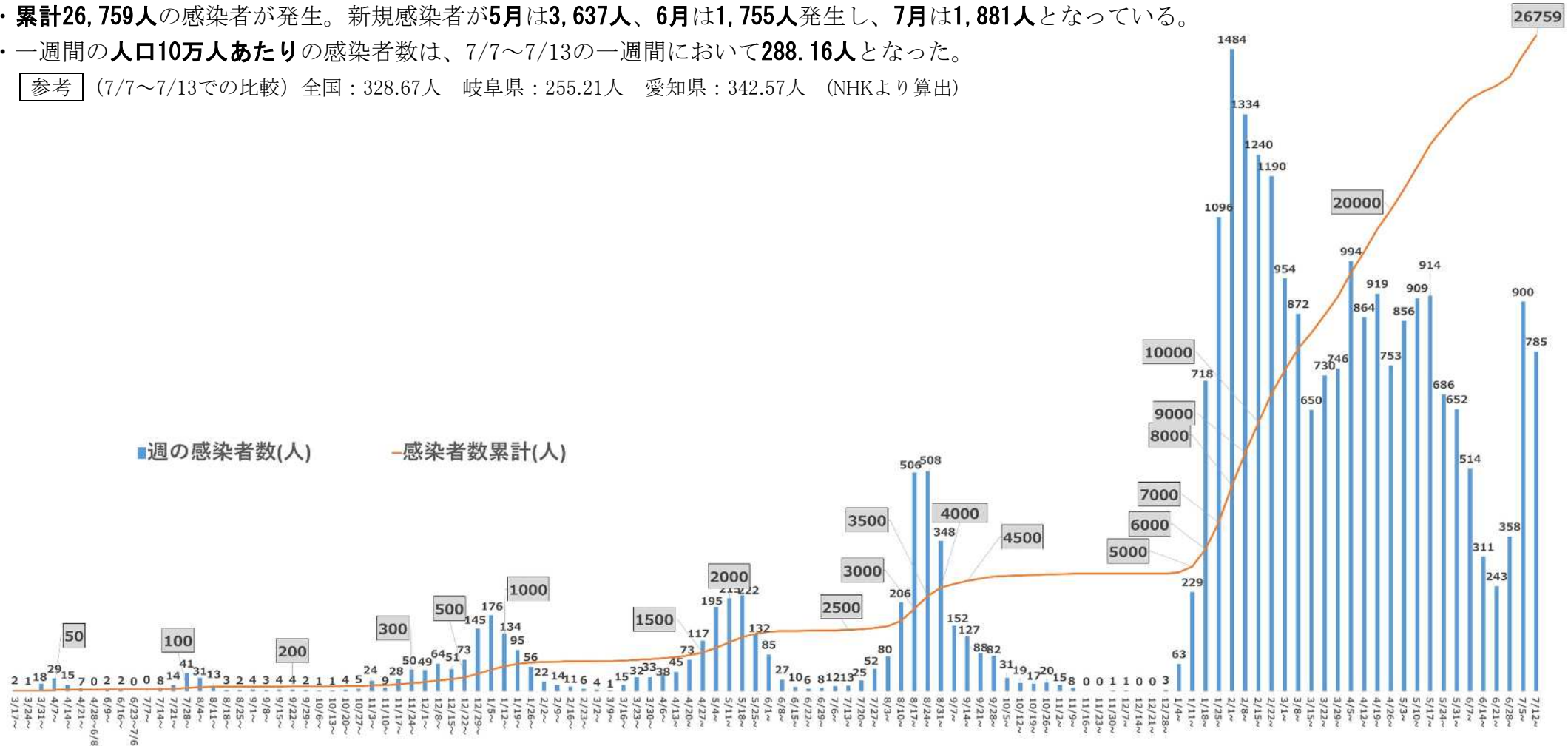
- | | |
|------|--|
| 資料 1 | 岐阜市における新型コロナウイルス感染症の感染者の発生状況について(R4.7.14 公表時点) |
| 資料 2 | 岐阜県新型コロナウイルス感染症対策協議会(第 45 回)対策本部本部員会議(第 57 回) |
| 参考 1 | 岐阜市新型コロナウイルス感染症対策本部会議席表 |

岐阜市における新型コロナウイルス感染症の感染者の発生状況について (R4. 7. 14 公表時点)

1 感染者数推移 (週計)

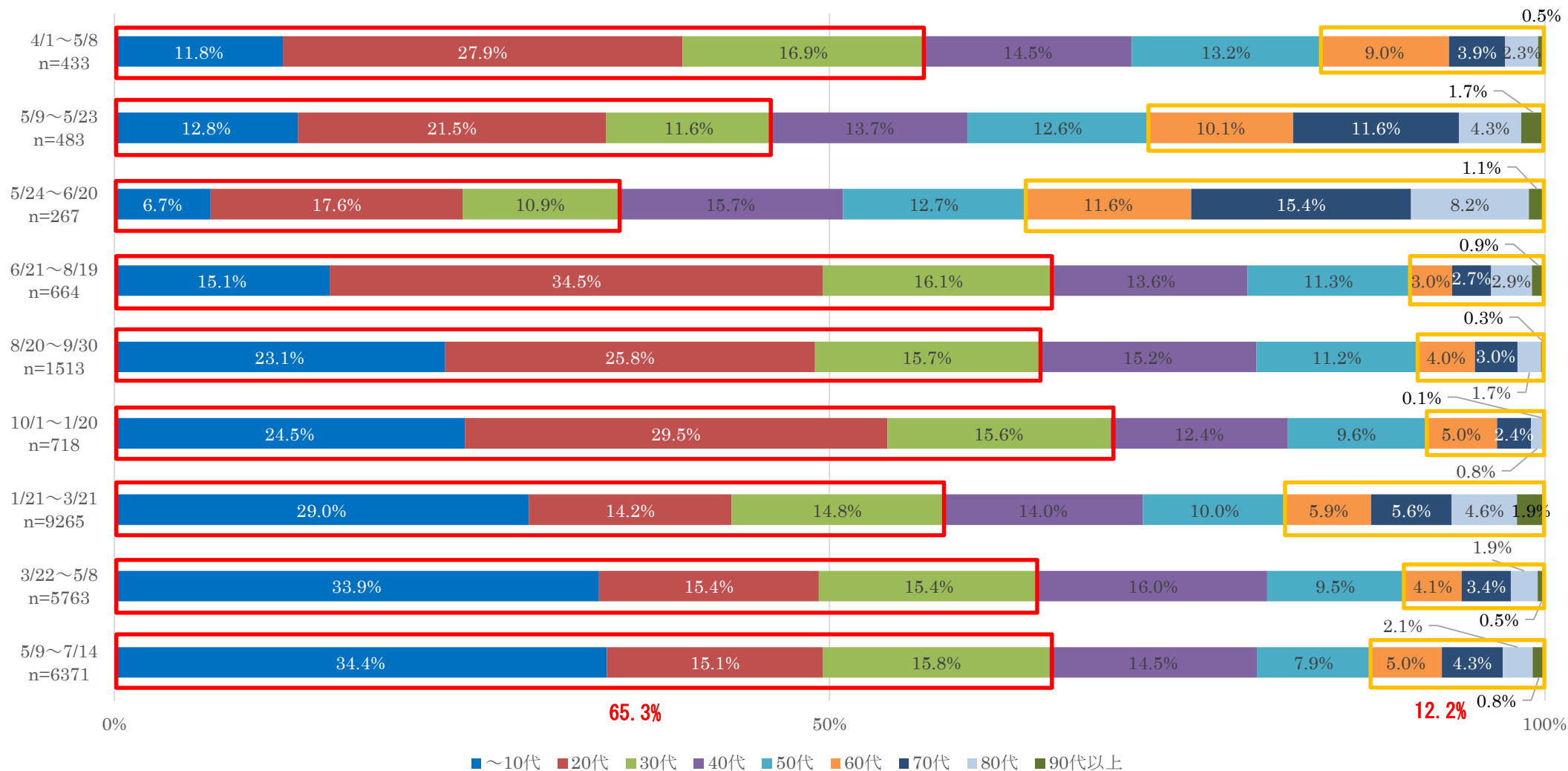
- ・ 累計26,759人の感染者が発生。新規感染者が5月は3,637人、6月は1,755人発生し、7月は1,881人となっている。
- ・ 一週間の人口10万人あたりの感染者数は、7/7～7/13の一週間において288.16人となった。

参考 (7/7～7/13での比較) 全国：328.67人 岐阜県：255.21人 愛知県：342.57人 (NHKより算出)



2 年代別割合の比較（令和 3 年 4 月以降）

- ・ 30代以下が**65.3%**、60代以上が**12.2%**となっている。
- ・ 最近の状況は、約半数が20代以下であり、60代以上の割合も1割を超えている。



※割合は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない場合があります。

岐阜県新型コロナウイルス感染症
対策協議会（第45回）
対策本部本部員会議（第57回）

日 時：令和4年7月15日（金）

13：30～

場 所：県庁4階 特別会議室

1 県の対策（案）

資料1

「第7波」急拡大防止に向けて

2 感染状況

資料2

3 換気対策・ワクチン接種

（1）換気対策の考え方

資料3－1

（2）ワクチン3回目・4回目接種のお知らせ

資料3－2

（参考）

・ 対策の詳細

参考資料1

・ 療養・検査体制及び感染再拡大時の対応方針

参考資料2

**岐阜県新型コロナウイルス感染症
対策協議会（第４５回） 対策本部本部員会議（第５７回） 出席者名簿**
日時：令和４年７月１５日（金）１３：３０～
場所：岐阜県庁４階 特別会議室

１ 市町村

市名	氏名等	備考	町村名	氏名等	備考
岐阜市	柴橋 正直 市長	県庁	岐南町	小島 英雄 町長	T V
大垣市	石田 仁 市長	T V	笠松町	川部 時文 副町長	T V
高山市	橋本 宏 市民保健部長	T V	養老町	大橋 孝 町長	T V
多治見市	古川 雅典 市長	T V	垂井町	和田 満 教育長	T V
関市	尾関 健治 市長	T V	関ヶ原町	西脇 康世 町長	T V
中津川市	青山 節児 市長	T V	神戸町	藤井 弘之 町長	T V
美濃市	武藤 鉄弘 市長	T V	輪之内町	木野 隆之 町長	T V
瑞浪市	石田 智久 理事	T V	安八町	堀 正 町長	T V
羽島市	松井 聡 市長	T V	掛斐川町	岡部 栄一 町長	T V
恵那市	小坂 喬峰 市長	T V	大野町	宇佐美 晃三 町長	T V
美濃加茂市	藤井 浩人 市長	T V	池田町	牛嶋 勝一 副町長	T V
土岐市	加藤 淳司 市長	T V	北方町	戸部 哲哉 町長	T V
各務原市	磯谷 均 副市長	T V	坂祝町	林 英直 総務課長	T V
可児市	富田 成輝 市長	T V	富加町	板津 徳次 町長	T V
山県市	森 正和 健康介護課長	T V	川辺町	佐藤 光宏 町長	T V
瑞穂市	山本 康義 企画部長	T V	七宗町	加納 福明 町長	T V
飛騨市	都竹 淳也 市長	T V	八百津町	瀬瀬 幸美 副町長	T V
本巣市	藤原 勉 市長	T V	白川町	佐伯 正貴 副町長	T V
郡上市	日置 敏明 市長	T V	東白川村	桂川 憲生 副村長	T V
下呂市	山内 登 市長	T V	御嵩町	寺本 公行 副町長	T V
海津市	横川 真澄 市長	T V	白川村	板谷 孝明 副村長	T V

２ 各種団体

団体名	氏名等	団体名	氏名等
岐阜県医師会	伊在井 みどり 会長	岐阜県中小企業団体中央会	傍島 茂夫 会長
岐阜県歯科医師会	阿部 義和 会長	岐阜県経済同友会	中川 正之 筆頭代表幹事
岐阜県薬剤師会	日比野 靖 会長	岐阜県商店街振興組合連合会	日比野 豊 理事長
岐阜県病院協会	松波 英寿 会長	岐阜県農業協同組合中央会	櫻井 宏 代表理事長
岐阜県看護協会	青木 京子 会長	大垣銀行協会	竹中 哲夫 公務金融部長
岐阜県観光連盟	瀧 修一 会長	日本政策金融公庫 岐阜支店	瀬瀬 和人 支店長
岐阜県経営者協会	安藤 正弘 専務理事	商工組合中央金庫 岐阜支店	前島 晋介 次長
岐阜県商工会議所連合会	森 健二 専務理事	岐阜労働局	鈴村 実 職業安定部訓練室室長
岐阜県商工会連合会	野原 茂基 専務理事		

３ 専門家

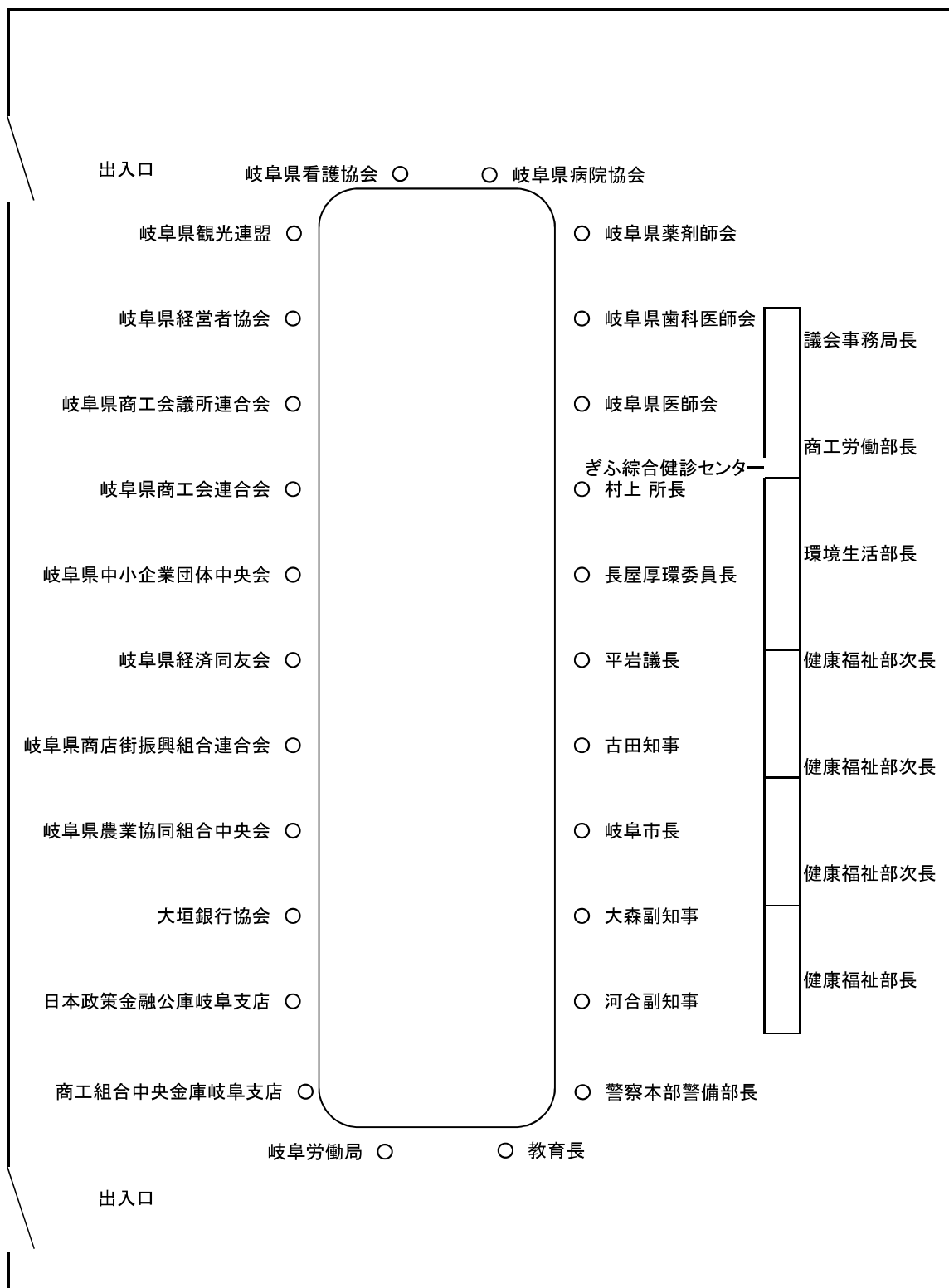
所属名	氏名等
ぎふ総合健診センター	村上 啓雄 所長

４ 県

	氏名		氏名
知事	古田 肇	健康福祉部長	堀 裕行
議長	平岩 正光	子ども・女性局長	村田 嘉子
厚生環境委員会委員長	長屋 光征	商工労働部長	崎浦 良典
副知事	大森 康宏	観光国際局長	丸山 淳
副知事	河合 孝憲	農政部長	雨宮 功治
警察本部警備部長	佐名 健太	林政部長	高井 峰好
教育長	堀 貴雄	県土整備部長	大野 真義
会計管理者	北川 幹根	都市建築部長	野崎 眞司
秘書広報統括監	高橋 洋子	都市公園整備局長	舟久保 敏
総務部長	尾鼻 智	議会事務局長	山口 義樹
清流の国推進部長	長尾 安博	人事委員会事務局長	田中 誠司
デジタル推進局長	市橋 貴仁	監査委員事務局長	大脇 哲也
危機管理部長	内木 禎	労働委員会事務局長	樋口 博久
環境生活部長	渡辺 正信	健康福祉部次長	渡辺 幸司
県民文化局長	籠橋 智基		

岐阜県新型コロナウイルス感染症
対策協議会(第45回) 対策本部本部員会議(第57回) 配席図

令和4年7月15日(金)13:30～
4階特別会議室



「第7波」急拡大防止に向けて

令和4年7月15日決定
岐阜県新型コロナウイルス感染症対策本部

【直近の感染状況】

現在、置き換わりが進みつつあるオミクロン株「BA.5系統」による圧倒的な感染スピード、ワクチン接種後の効果減衰などを背景に、第6波のピークを上回る勢いで急速に感染が拡大し「第7波の真ただ中」にあります。

感染拡大の特徴としては、ワクチン接種率の低い若年層の感染が多いことが挙げられます。また、福祉施設、医療機関、保育施設、学校などでのクラスターが多く、特に高齢者や基礎疾患のある方など重症化リスクが高い方々への感染が懸念されます。

このまま感染拡大が続けば、早ければ数日の内にも第6波のピークを上回り、一気に過去最大の波となる事態も想定されます。

【感染爆発のリスク】

これから本格的な夏を迎えます。人流が活発となるこの時期は、一昨年、昨年ともに感染が拡大する結果となりました。

オミクロン株は一般的には重症化リスクは低いとされていますが、BA.5系統は若干重症化しやすいとも言われており、今後、第6波を上回る感染爆発が生じた場合、感染あるいは濃厚接触などにより企業、学校など、様々な社会経済活動が機能不全に陥るとともに、一人ひとりにとっても本来であれば楽しい夏休みシーズンに、活動の継続が困難となる事態が懸念されます。

特に医療分野では、医療人材が不足し、病棟閉鎖などにより、コロナ医療のみならず、救急医療を含めた通常医療の維持に大きな影響が生じかねません。また、介護分野においても同様に、業務継続に支障をきたす恐れがあります。

【今後の対応】

こうした事態を避けるため、県では、「感染防止対策の徹底」、「検査体制及び各施設における対策の強化」、「ワクチン接種の加速化」の3つの柱により対策を進めてまいります。なお、今後の感染状況によっては、保健所体制の重点化などを進めるとともに、行動制限に関する要請を含め、さらなる強化策を機動的に講じてまいります。

対策強化・見直しのポイント

1 感染防止対策の徹底

○基本的な感染防止対策の徹底を継続

- マスク着用 (不織布マスクで隙間なくフィット。メリハリある着用)
- 手指衛生 (頻繁な手洗い、消毒)
- 密回避 (密閉・密集・密接のどれか一つでも回避)
- こまめに換気 (換気扇の常時稼働や窓・扉の開放による1時間に2回以上の換気。特に高齢者施設、学校、保育所などにおいては空気の流れを阻害しないよう効果的な換気を徹底)
- 体調管理 (体調不良時は出勤・出張・通学・部活・旅行・レジャーを含む全ての行動をストップし、医療機関を受診)

○健康な若者でも、新型コロナへの感染には以下のリスクがあることを周知

- 罹患時に症状がなくても、後遺症が生じるリスク
- 高齢や基礎疾患のあるご家族が感染するリスク
- 職場への感染持込みにより、事業継続が困難となるリスク

○会食は、同一グループでの同一テーブル4人まで、2時間以内が目安

○県主催イベントにおけるワクチン接種歴又は陰性の検査結果の確認

- ・全国からの参加者が想定される県主催のイベント、県有施設を活用したイベントであって、マスクを外す可能性のあるものについて、参加者・利用者などの「3回ワクチン接種歴」又は「陰性の検査結果」の確認を実施
- ・市町村や民間事業者にも同様の対応を呼びかけ

○“ほっと一息、ぎふの旅”キャンペーン（地域ブロック割）について、全国規模には拡大せず、感染状況を見極めながら、8月末まで延長実施

2 検査体制及び各施設における対策の強化

(1) 高齢者・障がい者福祉施設における対応

- 施設で感染者が出た場合、直ちに接触者の職員、利用者を幅広く検査するとともに、入所施設においては、感染症対策専門家による早期支援を徹底
- 施設における検体採取や施設内療養時の往診などを的確に行うため、施設の協力医療機関や地元医療機関との連携を強化
- 施設職員に対する予防的検査を8月末まで延長するとともに、頻度を上げるなど、感染をより早期発見できるよう検査の実効性を確保
- 平時及び感染発生初動時における感染対策について、事業者団体と連携し、再点検を徹底

(2) 教育現場などにおける対応

- 夏季休業中の感染防止対策を徹底するため、児童生徒や保護者に対するメッセージを発信し、家族全員に対して感染防止対策を予め周知
- 小学校、幼稚園、保育所などの職員に対する予防的検査を8月末まで延長するとともに、以下の取組みにより積極的な受検を促進
 - 小学校では、夏季休業明けの学校再開に向け、各学校で計画的に検査を実施
 - 幼稚園、保育所などに対しては、実施施設における検査実施の事例集を作成・配布するとともに、頻度を上げて実施するよう要請

(3) お盆期間における臨時検査拠点

- お盆期間中の無料検査の需要増加に対応するため、JR岐阜駅などに臨時の検査拠点を設置

3 ワクチン接種の加速化

(1) 若年層などへの3回目接種を促進

①集中的な広報の実施

- ・若年層（10～30代）をはじめ3回目までの接種を行っていない方に対し、あらゆる機会を捉え、「オール岐阜」で集中的な広報を展開
 - 県による広報（県公式ツイッター、YouTube、新聞広告、テレビなど）
 - 市町村による各種媒体を活用した住民への広報
 - 県内企業や各種団体などによる従業員・会員などへの周知啓発
 - 商業施設など集客施設における周知啓発
 - イベントなどの機会を捉えた周知啓発

②接種しやすい環境整備

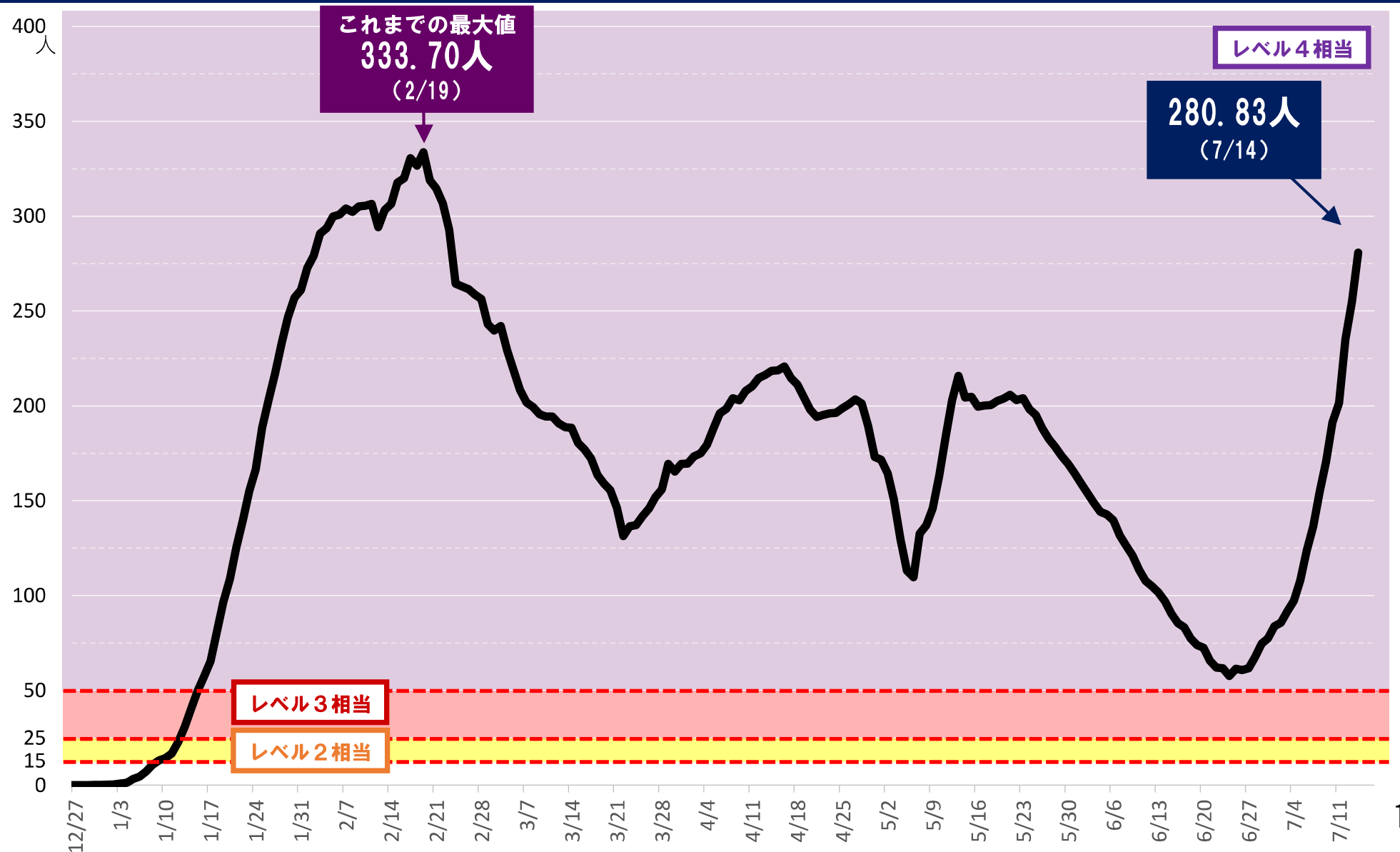
- ・3回目までの接種を希望する方々が速やかに接種できるよう、市町村において個別接種、集団接種を実施
- ・県大規模接種会場（岐阜産業会館）を8月も開設し、都市部における3回目接種を加速化
- ・アレルギーなどでmRNAワクチンを接種困難な方に対して組換えタンパクワクチンであるノババックスワクチンの接種を、岐阜県総合医療センターに加え、県大規模接種会場（岐阜産業会館）においても実施（7月23日～。3回目接種に対応）
- ・事業所などにおける、ワクチン接種のための休暇の取得など従業員やその家族が接種しやすい環境づくりを依頼

(2) 重症化リスクの高い方への4回目接種を促進

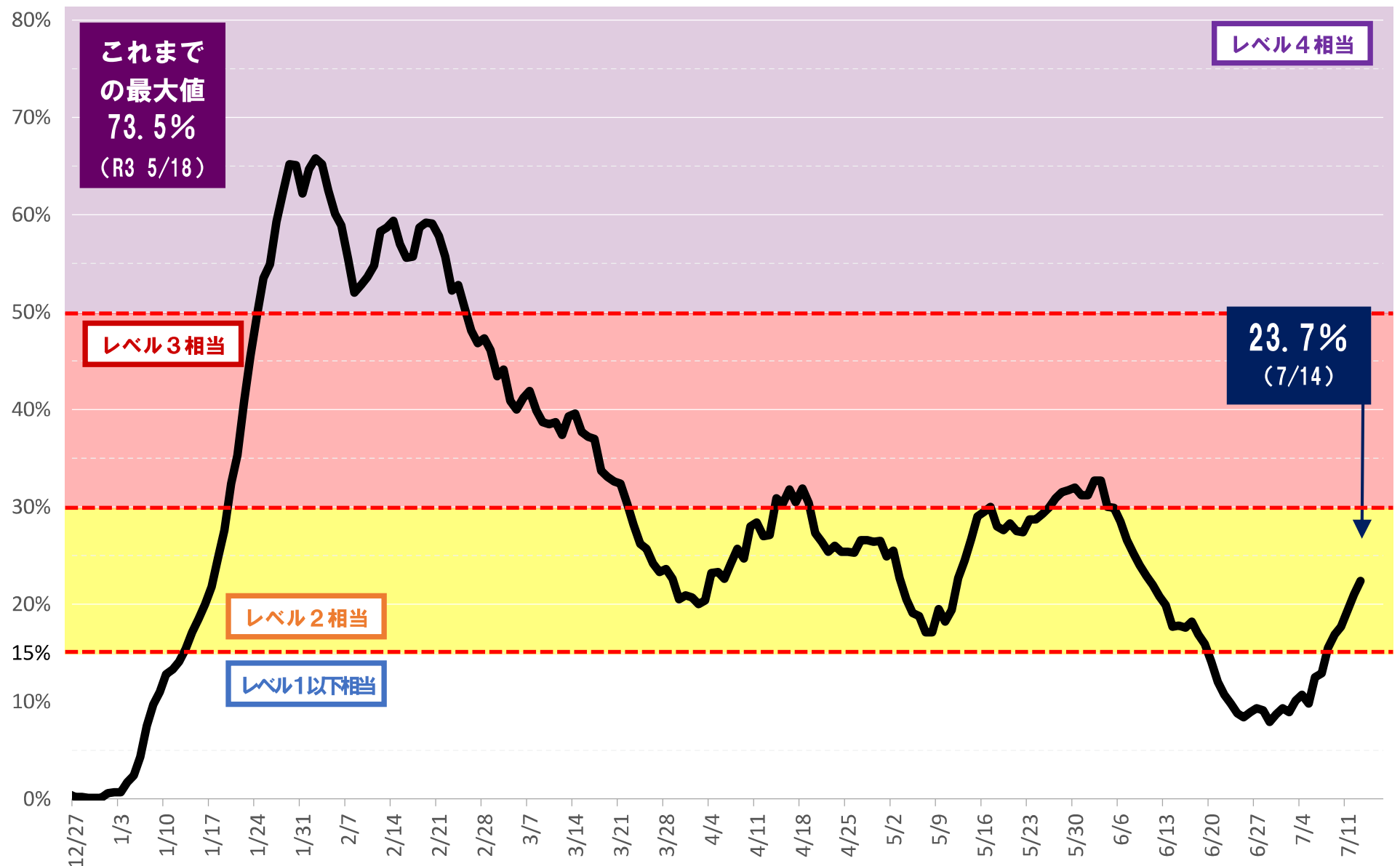
- ・60歳以上の方や18歳以上で基礎疾患のある方に速やかに接種できるよう市町村において個別接種、集団接種を実施
- ・高齢者施設の入所者について、8月までに希望者全員へ接種
- ・接種時期を迎える方（3回目接種から5か月経過）が、速やかに接種を受けられるよう接種券を送付
- ・県大規模接種会場（岐阜産業会館）を8月も開設し、都市部における4回目接種を加速化
- ・事業所などにおける、ワクチン接種のための休暇の取得など従業員やその家族が接種しやすい環境づくりを依頼（再掲）
- ・感染リスクを負いながら業務を行う医療従事者や高齢者施設などの従事者を4回目接種の対象とする国の方針を踏まえて周知及び準備

県の10万人あたり新規陽性者数 (7日間移動合計)の推移

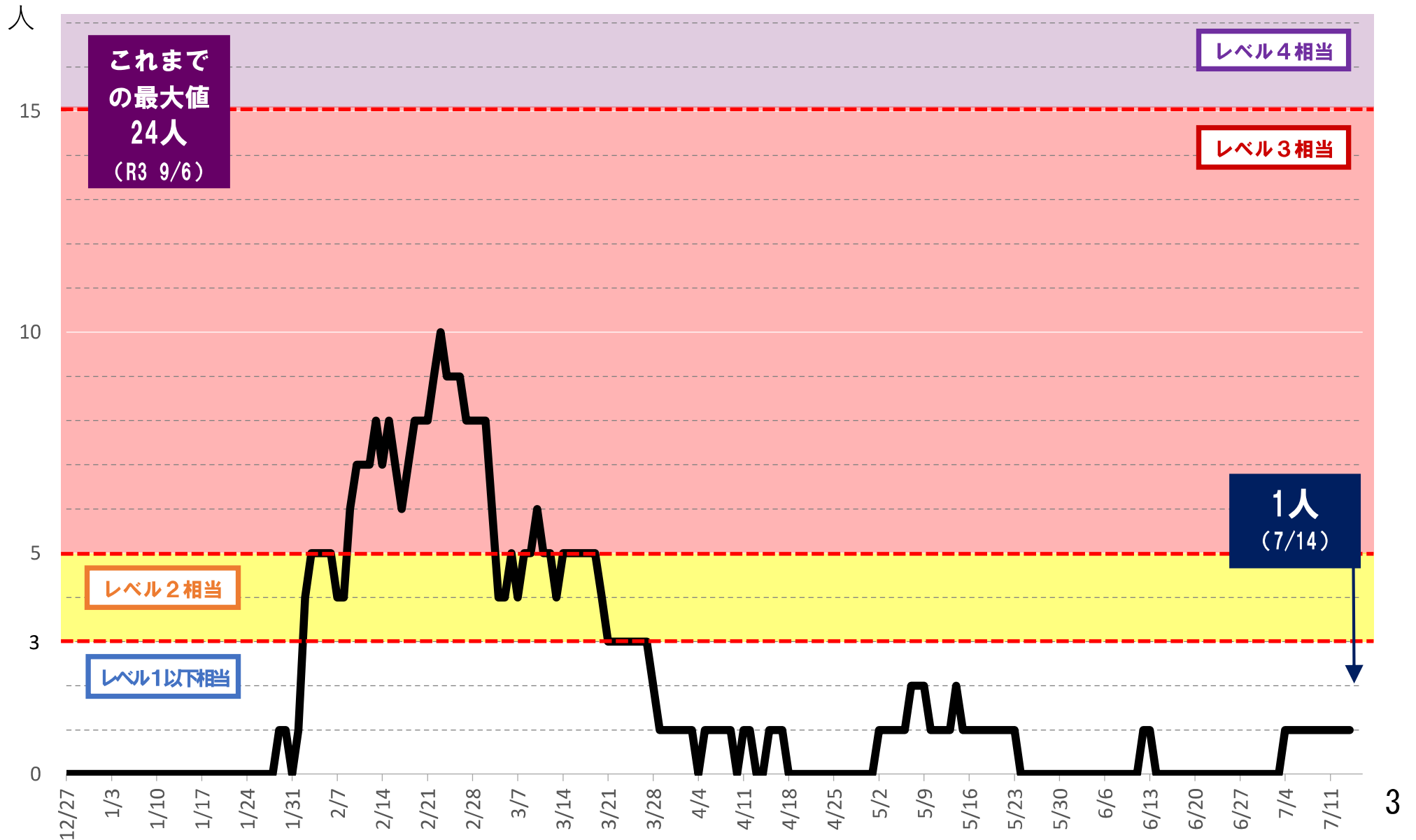
資料2



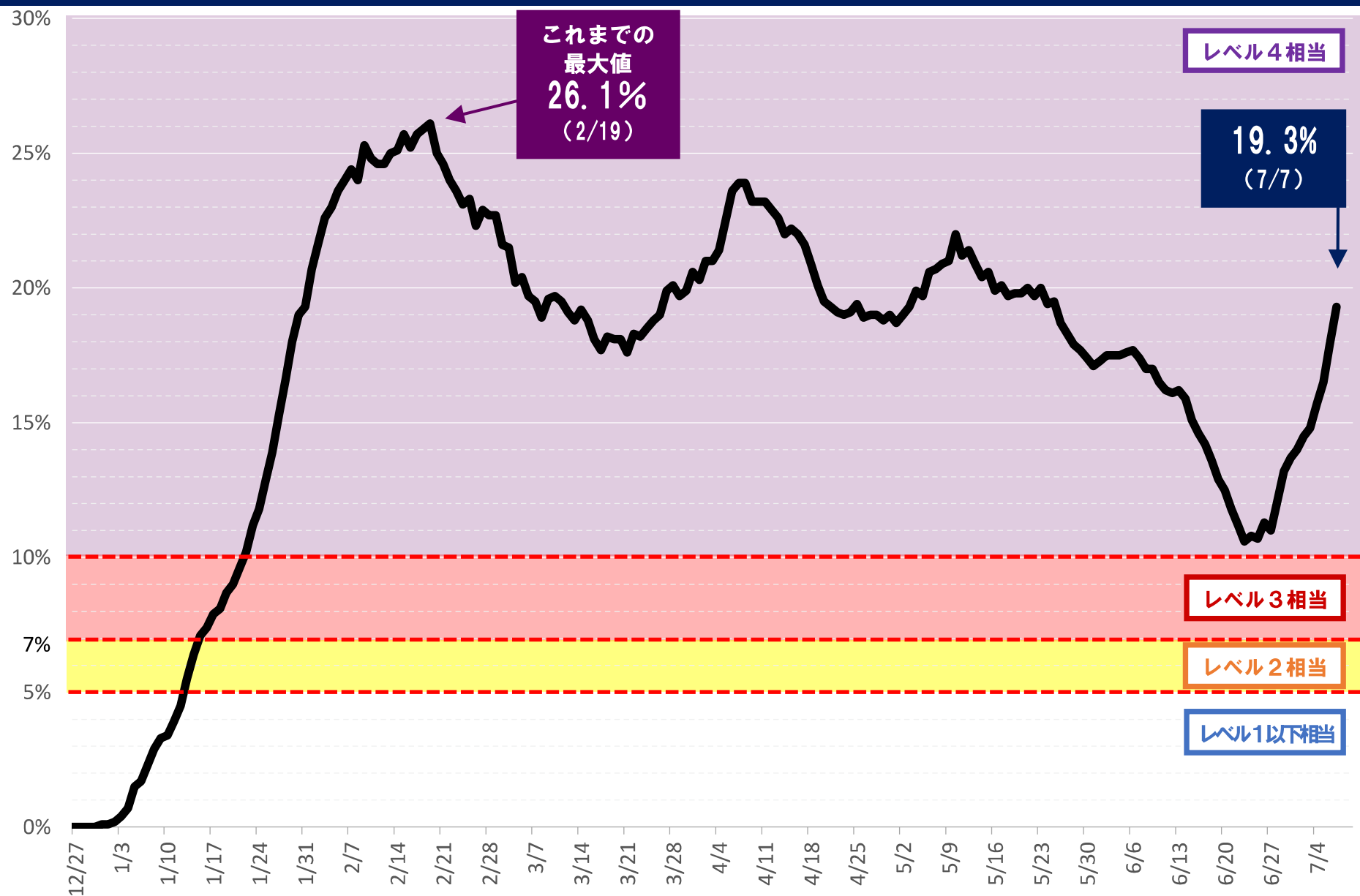
県の病床使用率の推移



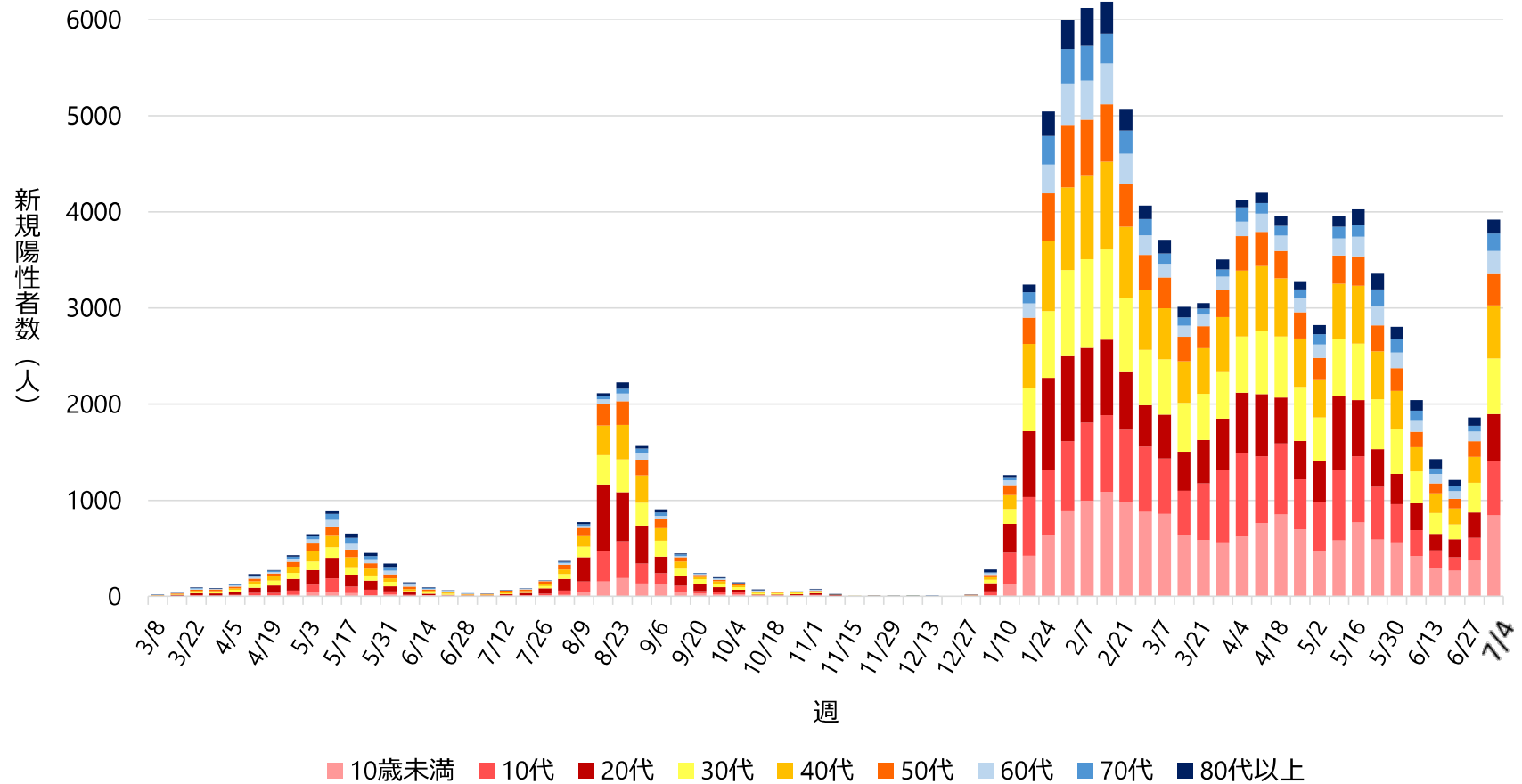
重症者数の推移



陽性率（7日間移動平均）の推移

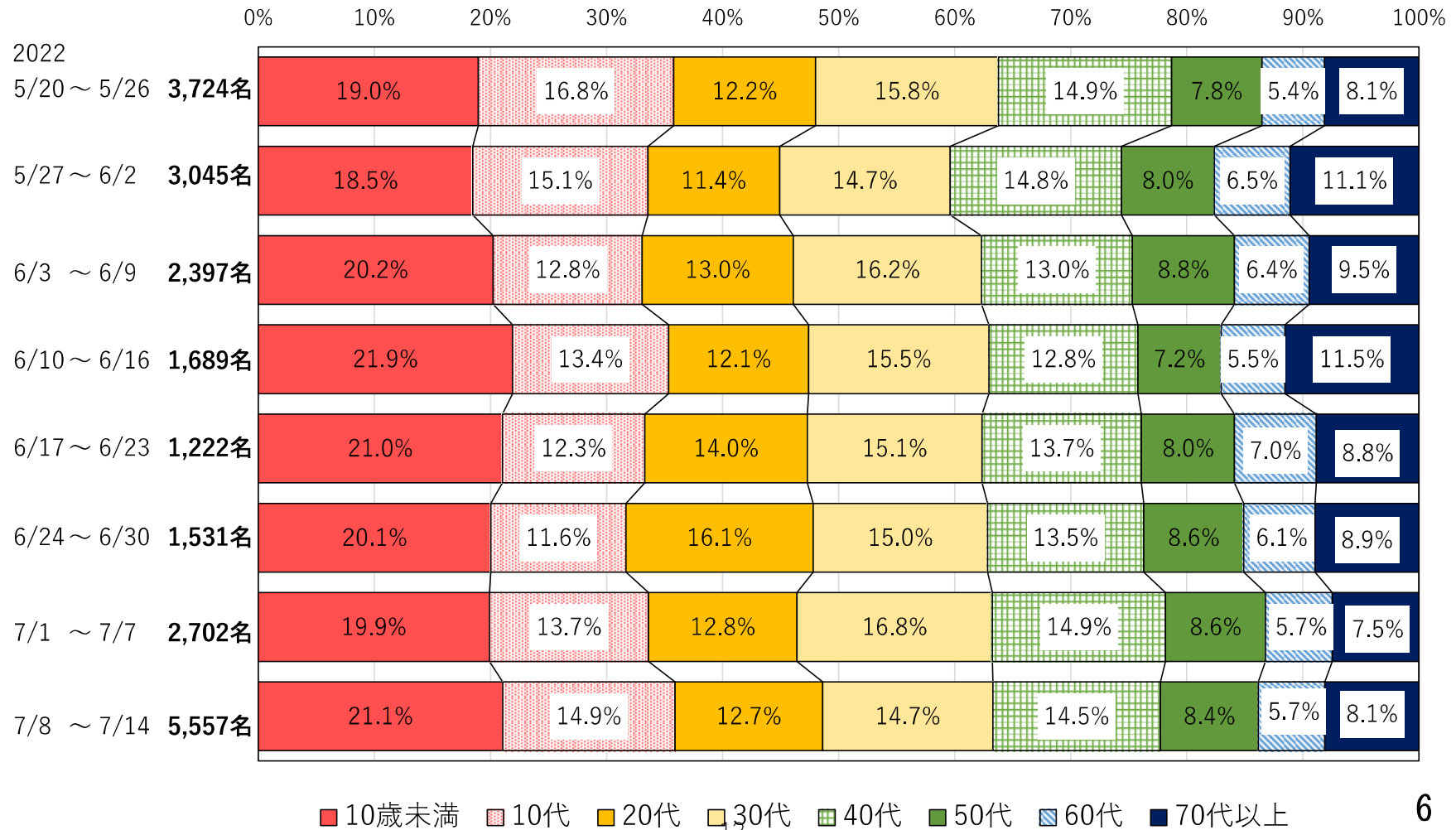


週別・年代別・新規陽性者数推移



直近の感染状況 年代別陽性者の割合

20代以下の割合が約半数を占める



直近の感染状況 死亡者、重症者について

各波の比較

7月14日時点

	第1波	第2波	第3波	第4波	第5波	第6波	第7波
陽性者数	150	480	4,037	4,615	9,653	87,752	9,287
重症者数	8	12	58	77	54	30	1
重症者（％）	5.33%	2.50%	1.44%	1.67%	0.56%	0.03%	0.01%
死亡者数	7	3	105	72	32	126	6
死亡者（％）	4.67%	0.63%	2.60%	1.56%	0.33%	0.14%	0.06%

第6波以降における死亡者

年代	死亡者数	基礎疾患あり	陽性者数	致死率
10歳未満	0	0	17,477	0%
10代	0	0	15,412	0%
20代	2	0	13,860	0.01%
30代	1	1	14,687	0.01%
40代	2	1	14,280	0.01%
50代	2	2	8,362	0.02%
60代	6	6	5,186	0.12%
70代	21	20	3,948	0.53%
80代	43	41	2,615	1.64%
90代	51	50	1,158	4.40%
100歳以上	4	4	54	7.41%
計	132	125	97,039	0.14%
うち59歳以下	7	4	84,078	0.01%
うち60歳以上	125	121	12,961	0.96%

第6波以降における重症者

年代	重症者数	基礎疾患あり	陽性者数	重症化率
10歳未満	1	1	17,477	0.01%
10代	0	0	15,412	0%
20代	2	1	13,860	0.01%
30代	0	0	14,687	0%
40代	4	2	14,280	0.03%
50代	5	4	8,362	0.06%
60代	5	5	5,186	0.10%
70代	7	7	3,948	0.18%
80代	6	6	2,615	0.23%
90代	1	1	1,158	0.09%
100歳以上	0	0	54	0%
計	31	27	97,039	0.03%
うち59歳以下	12	8	84,078	0.01%
うち60歳以上	19	19	12,961	0.15%

14

7

市町村別の感染状況（7月14日公表分まで）

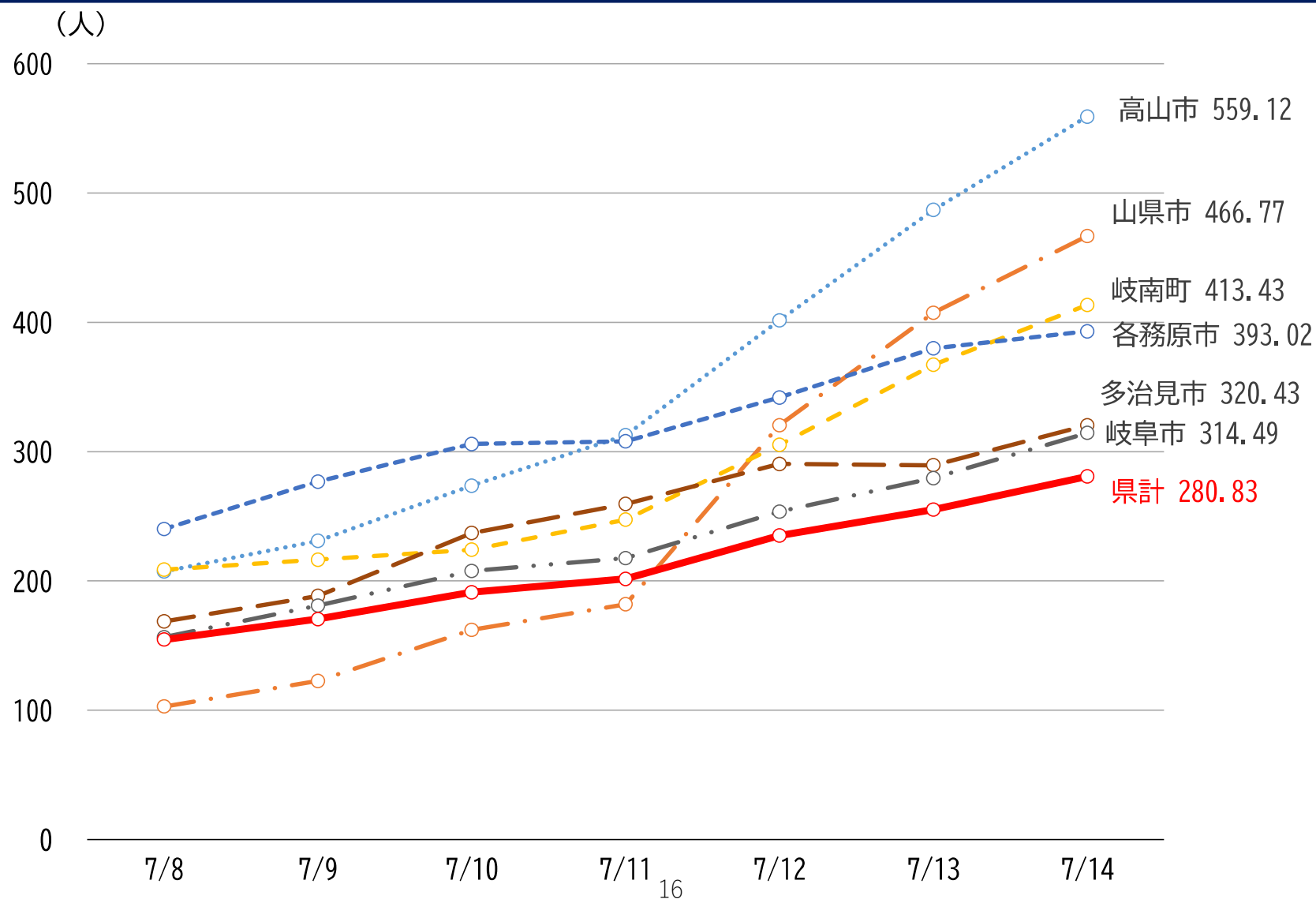
市町村	人口	陽性者数					
		累計	12/27以降 (12/27～7/14)	直近一週間（7/8～7/14）			
					順位	人口10万対	順位
岐阜市	402,557人	26,306人	21,736人	1,266人	1	314.49	9
大垣市	158,286人	9,273人	7,556人	352人	4	222.38	22
高山市	84,419人	3,683人	3,341人	472人	3	559.12	1
多治見市	106,732人	5,877人	4,893人	342人	5	320.43	8
関市	85,283人	4,652人	4,013人	207人	7	242.72	16
中津川市	76,570人	3,281人	2,742人	139人	11	181.53	32
美濃市	19,247人	850人	698人	44人	26	228.61	20
瑞浪市	37,150人	2,414人	2,124人	72人	17	193.81	30
羽島市	65,649人	4,164人	3,635人	161人	9	245.24	14
恵那市	47,774人	1,899人	1,652人	96人	15	200.95	27
美濃加茂市	56,689人	5,320人	4,336人	146人	10	257.55	12
土岐市	55,348人	3,262人	2,682人	118人	12	213.20	23
各務原市	144,521人	8,891人	7,438人	568人	2	393.02	5
可児市	99,968人	7,500人	6,037人	243人	6	243.08	15
山県市	25,280人	1,384人	1,180人	118人	12	466.77	2
瑞穂市	56,388人	4,168人	3,488人	183人	8	324.54	7
飛騨市	22,538人	404人	364人	51人	24	226.28	21
本巣市	32,928人	1,758人	1,483人	54人	23	163.99	33
郡上市	38,997人	1,585人	1,464人	47人	25	120.52	37
下呂市	30,428人	761人	666人	64人	20	210.33	24
海津市	32,735人	1,534人	1,298人	67人	18	204.67	26
岐南町	25,881人	2,065人	1,748人	107人	14	413.43	4
笠松町	22,208人	1,370人	1,090人	78人	16	351.22	6
養老町	26,882人	1,356人	1,126人	67人	18	249.24	13
垂井町	26,402人	1,308人	1,125人	64人	20	242.41	17
関ヶ原町	6,610人	263人	215人	13人	35	196.67	29
神戸町	18,585人	1,017人	862人	37人	29	199.09	28
輪之内町	9,654人	540人	479人	29人	32	300.39	10
安八町	14,355人	783人	641人	33人	31	229.89	19
揖斐川町	19,529人	885人	774人	58人	22	296.99	11
大野町	22,041人	994人	880人	42人	27	190.55	31
池田町	23,360人	1,211人	1,097人	35人	30	149.83	35
北方町	18,139人	1,190人	975人	38人	28	209.49	25
坂祝町	8,071人	439人	342人	19人	34	235.41	18
富加町	5,626人	341人	314人	9人	37	159.97	34
川辺町	9,860人	481人	396人	11人	36	111.56	38
七宗町	3,402人	103人	83人	1人	40	29.39	40
八百津町	10,195人	428人	313人	8人	38	78.47	39
白川町	7,412人	214人	186人	1人	40	13.49	41
東白川村	2,016人	80人	71人	0人		0.00	
御嵩町	17,516人	861人	715人	26人	33	148.44	36
白川村	1,511人	43人	41人	7人	39	463.27	3
県外その他		1,036人	740人	64人			
岐阜県 計	1,978,742人	115,974人	97,039人	5,557人		280.83	

※ 順位：陽性者数・人口10万対の多い順

※ 人口：総務省統計局「令和2年国勢調査 人口等基本集計」(R2.10.1時点)

直近1週間の感染状況 (主な感染拡大市町村)

人口10万人当たり新規陽性者数



直近1週間の感染状況 (主な感染拡大市町村)

感染状況の特徴

	クラスター数（7月）	感染状況の特徴
高山市	2件 (医療機関 1件) (高齢者福祉施設 1件)	・ 保育園、小学生の陽性者が多数発生。陽性者の4割弱が10歳未満。また、その親世代である30代、40代が3割弱を占める。 ・ 7月12日に20名以上の高齢者福祉施設クラスターが発生。
山県市	1件 (保育施設 1件)	・ 陽性者の1/3以上が10歳未満。 ・ 7月12日に大規模な保育施設クラスターが発生。短期間に70名以上まで拡大。
岐南町	0件	・ 7月13日に32名（過去最多タイ）の陽性者が発生。 ・ 陽性者に占める20～30代の割合が1/3以上。
各務原市	2件 (高齢者福祉施設 1件) (保育施設 1件)	・ 保育施設クラスターが50名以上まで拡大中。 ・ 陽性者に占める10歳未満の割合は約1/4。
多治見市	2件 (高齢者福祉施設 1件) (障がい者福祉施設 1件)	・ 高年齢層の陽性者が多数発生。陽性者の約2割が60歳以上。 ・ 7月8日には高齢者福祉施設でクラスターが発生し、19名まで拡大。
岐阜市	6件 (高齢者福祉施設 2件) (保育施設 2件) (医療機関 1件) (学校 1件)	・ 陽性者の年齢層に大きな特徴はなく、幅広い層で陽性者が発生。 ・ 7月以降だけでも、高齢者福祉施設、保育施設、医療機関などにおいて6件のクラスターが発生。

①エアロゾル感染＋②飛沫感染（※）の対策が必要

（※）飛沫感染：ウイルスを含む飛沫が口、鼻、目などの露出した粘膜に付着することにより感染すること。

① エアロゾル感染

- ・エアロゾル粒径と感染の関係が明らかになっていないため、A+Bの対策が望ましい。

A 大きい粒径が到達する風下での感染の対策

人の距離を確保、横方向の一定気流を防止（扇風機首振り・エアコンスイングなど）

B 小さい粒径が浮遊する空間内での感染の対策

必要な換気量（1人当たり30m³/h以上、CO₂濃度1000ppm以下）を確保

② 飛沫感染の対策

マスクの装着、飛沫放出が多い場合には直接飛沫防止境界（パーティションなど）を設置



室内環境中の飛沫の挙動と伝搬の可能性

対策の要点

① 空間のエアロゾル除去（換気）性能の確保

- ・換気量（CO₂濃度）基準を満たすことは、多くの建物の換気設備で可能。
- ・換気設備の性能が不十分な場合は、窓開け換気を実施。

② エアロゾルの発生が多い行為等への対応

- ・エアロゾル発生が多い行為（口腔ケア、激しい運動）が想定される場合には、A 風下での感染＋B 空間内に拡散することによる感染の双方を十分に配慮。

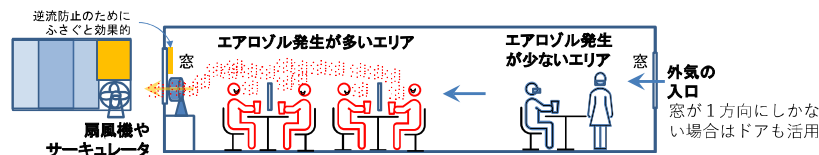
③ 換気量増加（窓開け換気）の副作用への配慮

- ・冬期には寒さ（ヒートショック等）、夏期には暑さ（熱中症等）と湿気（結露による真菌細菌等）に配慮。
- ・窓開けが難しい場合には、CO₂濃度を確認した上で、必要に応じて人の密度を抑制（人距離確保と感染者が存在する確率を抑制）、空気清浄機を利用。

エアロゾル感染を防ぐ空気の流れ

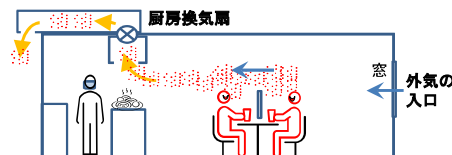
窓が2方向にある場合

エアロゾル発生が多いエリアから扇風機、サーキュレータで排気し、反対側から外気を取り入れる。



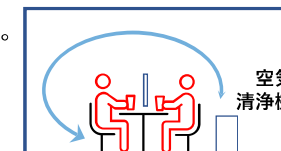
換気扇がある場合

換気扇で排気し、反対側から外気を取り入れる。



換気扇・窓がない場合

空気清浄機でエアロゾルを捕集。



換気を阻害しないパーティションの配置について

- 空気の入口（給気口）と出口（排気口）を確認
- 空気の流れを阻害しないようにパーティションを配置

[高いパーティションを用いる場合の留意点]

（天井からのカーテン、目を覆う程度の高さより高いパーティションなど）

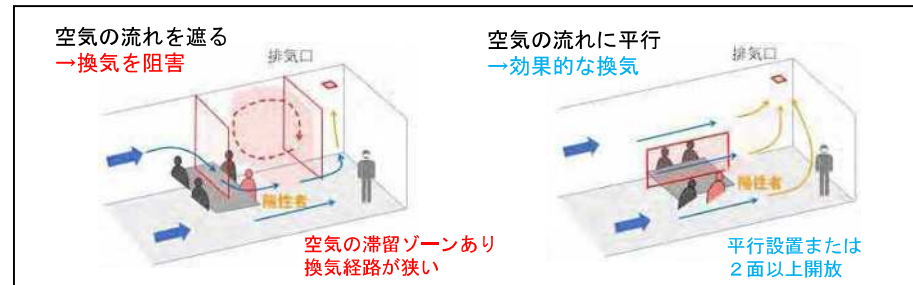
- ① 高いパーティションは、空気の流れに対して平行に配置する。
- ② 高いパーティションと壁で囲まれた空間ではCO₂濃度を測定し、濃度が高い場合には空気清浄機やファン（扇風機、サーキュレータ、エアコンの送風）を用いて換気を改善する。
- ③ ファンを用いる場合には、風下での感染対策のために首振りやスイングを用いる。
- ④ 高いパーティションの隙間には気流が集中するため、その風下には席を配置にしない。

[低いパーティションを用いる場合の留意点]

（目を覆う程度の高さより低いパーティション）

- ① 横の人との距離を1m程度以上確保できる場合は、空気によどみを作らないように、3方向を塞がないように配置する。

● パーティションの配置や形状により、換気が感染対策に有効に働かない場合があります。

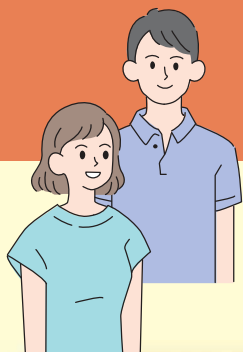


● 以下のような場合もパーティションによる換気阻害の恐れがあります。マスクや離隔距離の確保に加え、パーティション設置も工夫しましょう。やむを得ず、高いパーティションと壁で囲まれてしまう場合は、二酸化炭素濃度測定・空気清浄機の使用・ファンによる換気の改善等が必要です。

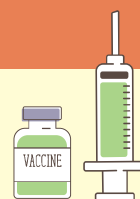
<換気が阻害される例>	<改善例>
● パーティションにより給排気口のないエリアが発生し、エアロゾル濃度が高まる。	● パーティションは空気の流れを遮らないように目線の高さ程度までとし、空気が滞留する部分を発生させないように最小限とする。
● 人との離隔が狭く、3面以上のパーティションにより囲まれている。壁との間で空気の通り道が狭くなっている。	● パーティションは空気の流れを遮らないように流れに平行に設置し、空気の通り道を広く確保する。人との離隔を確保する。

※上記図表の作成に当たっては、山本佳嗣東京工芸大学准教授、尾方壮行東京都立大学都市環境学部建築学科助教にご協力いただいた。

新型コロナワクチン 3回目接種がまだお済みでない皆様へ



3回目接種をご検討ください

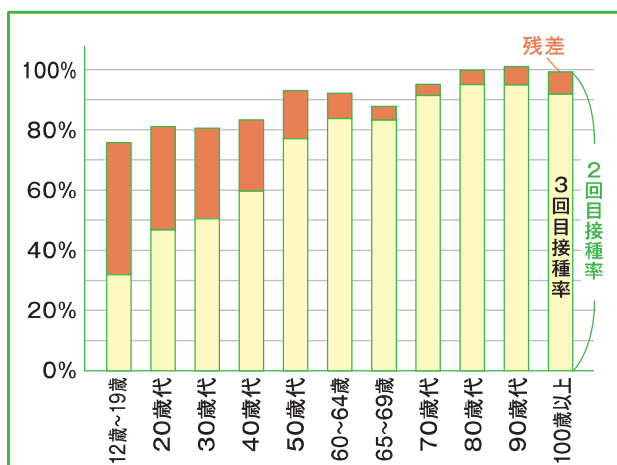


第89回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード
(令和4年6月30日)において、「**新規感染者数が全国的に上昇しており、特に大都市で増加している**」と指摘されています

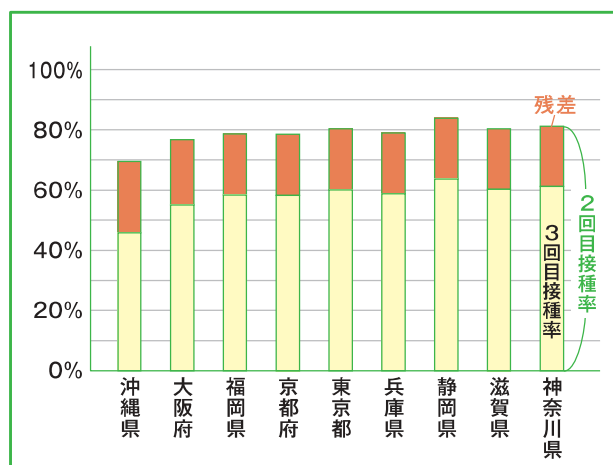
- 初回免疫(1・2回目接種)によるオミクロン株感染に対する感染予防効果や発症予防効果は著しく低下します。
- 7月以降、3連休や夏休みなどを迎え、接触の増加等が予想されます。

第89回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード(令和4年6月30日)より

【年代別】2・3回目ワクチン接種率



【地域別】2・3回目ワクチン接種率
(残差20%以上)



首相官邸ホームページ掲載資料(令和4年7月11日公表時点)から作成

3回目接種によりオミクロン株感染に対する感染予防効果、発症予防効果や入院予防効果が回復します。

出典：UKHSA COVID-19 vaccine surveillance report Week11.17 Mar 2022
Tseng(Nature Medicine 2022) MMWR Morb Mortal Wkly Rep.2022;71(4).

- 3回目接種の対象になるのは、2回目のワクチン接種を終了した12歳以上の方です。
- 3回目接種で利用できるワクチンは、①ファイザー社(12歳以上) ②モデルナ社(18歳以上) ③武田社ワクチン(18歳以上)の3種類です。

◎3回目接種の詳しい情報については、こちらをご覧ください。➡



◎各自治体の接種場所については、お住まいの市町村のホームページや広報、接種総合案内「コロナワクチンナビ」をご覧ください。

◎住民票がある場所(住所地)以外での接種について

- ・入院・入所中の医療機関や施設でワクチンを受ける方 ➡ 医療機関や施設でご相談ください。
- ・基礎疾患で治療中の医療機関でワクチンを受ける方 ➡ 医療機関でご相談ください。
- ・お住まいが住所地と異なる方 ➡ 実際にお住まいの地域でワクチンを受けられる場合があります。実際にお住まいの市町村ホームページでご確認いただくか、相談窓口にお問い合わせください。



◎ワクチンを受けるにはご本人または保護者の同意が必要です。

ワクチンを受ける際には、感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について、正しい知識を持っていただいた上で、ご本人または保護者の意思に基づいて接種をご判断いただきますようお願いいたします。受ける方または保護者の同意なく、接種が行われることはありません。

職場や周りの方などに接種を強制したり、接種を受けていない人に対して差別的な対応をすることはあってはなりません。

◎予防接種健康被害救済制度があります。

予防接種では健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことはできないことから、救済制度が設けられています。

申請に必要となる手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

ワクチンを受けた後も、マスクの着用など、感染予防対策の継続をお願いします

新型コロナワクチンは、新型コロナウイルス感染症の発症を予防する効果が確認されていますが、その効果は100%ではありません。また、ウイルスの変異による影響もあります。

このため、皆さまに感染予防対策を継続していただくようお願いします。具体的には、「3つの密(密集・密接・密閉)」の回避、マスクの着用、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒の励行などをお願いします。

感染予防対策を
継続していただ
くよう願いま
す。



密集場所



密接場面



密閉空間

「3つの密(密集・密接・密閉)」の回避



マスクの着用



石けんによる
手洗い



手指消毒用アルコール
による消毒の励行

新型コロナワクチンの詳しい情報については、
厚生労働省のホームページをご覧ください。

厚労 コロナ ワクチン 検索



60歳以上の方や、基礎疾患を有する方へ



新型コロナワクチン接種

4回目接種のお知らせ

4

接種費用 無料 全額公費

4回目接種を受けられるようになりました。
4回目接種により、高い重症化予防効果が得られます。



接種の対象

現時点で得られている科学的知見等により、以下の方を対象として、5月下旬を目途に4回目接種を開始いたします。

3回目のワクチン接種から5ヶ月が経過した

- ① 60歳以上の方 ② 18歳以上で基礎疾患を有する方
その他 重症化リスクが高いと医師が認める方

※重症化リスクが高い具体的な基礎疾患については、厚生労働省「新型コロナワクチンQ&A」をご覧ください。



※①に該当する方は、お住まいの自治体から郵送される接種券を接種会場に持参してください。

※②に該当するか否かについて、

基礎疾患等で医療機関を受診しておられる方や、事前に相談できる医療機関をお持ちの方は、その医療機関の医師にご相談ください。

事前に相談できる医療機関をお持ちでない方は、接種会場の予診の際にご相談ください。
なお、接種券の配布方法は、お住まいの自治体からの情報発信をご確認ください。

①②以外の方々への4回目接種については、引き続き、様々な情報を収集しながら検討していきます。

使用するワクチン

1～3回目に接種したワクチンの種類に関わらず、ファイザー社または武田/モデルナ社のワクチンを使用します。

新型コロナワクチンの 効果

- 海外の研究では、3回目接種から4か月以上経過した60歳以上の方にファイザー社ワクチンを4回目接種した場合、オミクロン株流行期において、接種後6週間経過しても重症化予防効果が低下せず維持されていたと報告されています。

出典: Bar-On YM et al. Protection by a Fourth Dose of BNT162b2 against Omicron in Israel. NEJM. 2022.

新型コロナワクチンの 安全性

- 海外の研究では、4回目接種後21日目までにおいて、重大な副反応は認めなかったと報告されています。

□ 18歳以上の接種後21日目までに現れた症状

報告割合	ファイザー社・モデルナ社
50%以上	疼痛 78.8%
10 - 50%	倦怠感 33.2% 筋肉痛 24.5% 頭痛 21.5% 硬結・腫脹 12.0%
1 - 10%	関節痛 8.4% 37.5度以上の発熱 6.6% リンパ節腫瘍 4.7% 紅斑・発赤 8.0% 知覚障害 1.5% アレルギー反応 1.0%

(※) 対象: 274人 (ファイザー社: 154人、モデルナ社: 120人)

出典: Gili Regev-Yochay et al. Efficacy of a Fourth Dose of Covid-19 mRNA Vaccine against Omicron. NEJM. 2022.

◎住民票がある場所（住所地）以外での接種について

- ・入院・入所中の医療機関や施設でワクチンを受ける方 → **医療機関や施設でご相談ください。**
- ・基礎疾患で治療中の医療機関でワクチンを受ける方 → **医療機関でご相談ください。**
- ・お住まいが住所地と異なる方 → **実際にお住まいの地域でワクチンを受けられる場合があります。**
実際にお住まいの市町村ホームページでご確認いただくか、相談窓口にお問い合わせください。

◎ワクチンを受けるにはご本人の同意が必要です。

ワクチンを受ける際には、感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について、正しい知識を持っていただいた上で、ご本人の意思に基づいて接種をご判断いただきますようお願いいたします。受ける方の同意なく、接種が行われることはありません。

職場や周りの方などに接種を強制したり、接種を受けていない人に対して差別的な対応をすることはあってはなりません。

◎予防接種健康被害救済制度があります。

予防接種では健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことはできないことから、救済制度が設けられています。

申請に必要となる手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

ワクチンを受けた後も、マスクの着用など、感染予防対策の継続をお願いします

新型コロナワクチンは、新型コロナウイルス感染症の発症を予防する高い効果が確認されていますが、その効果は100%ではありません。また、ウイルスの変異による影響もあります。

このため、皆さまに感染予防対策を継続していただくようお願いします。具体的には、「3つの密（密集・密接・密閉）」の回避、マスクの着用、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒の励行などをお願いします。

感染予防対策を
継続していただ
くようお願いし
ます。



密集場所



密接場面



密閉空間

「3つの密（密集・密接・密閉）」の回避



マスクの着用



石けんによる
手洗い



手指消毒用アルコール
による消毒の励行

ホームページをご覧にならない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。

新型コロナワクチンの有効性・安全性などの詳しい情報については、厚生労働省ホームページの「新型コロナワクチンについて」のページをご覧ください。

厚労 コロナ ワクチン

検索



対策の詳細

1 感染防止対策の徹底

(1) 基本的な感染防止対策

- ・ 基本的な感染防止対策の徹底を継続。
 - マスク着用※（不織布マスクで隙間なくフィット）
 - 手指衛生（頻繁な手洗い、消毒）
 - 密回避（密閉・密集・密接のどれか一つでも回避）
 - こまめに換気（換気扇の常時稼働や窓・扉の開放による1時間に2回以上の換気。特に高齢者施設、学校、保育所などにおいては空気の流れを阻害しないよう効果的な換気を徹底）
 - 体調管理（体調不良時は出勤・出張・通学・部活・旅行・レジャーを含む全ての行動をストップし、医療機関を受診）

※マスク着用に関する考え方

- ・ 感染防止に向けた有力な武器として、マスクについては、国の基本的対処方針に沿って人との距離（2 m以上）や会話の有無により、メリハリをつけて着用（マスクを着用できればより安全であるが、以下の場面では外すことも賢く行う）。
 - 屋外で人との距離がある（ランニング、密にならない外遊びなど）
 - 屋外で人との距離はないが、会話をほとんど行わない（徒歩での通勤など）
 - 屋内で人との距離があり、会話をほとんど行わない
- ・ 夏場については、熱中症防止の観点から、上記の屋外の場面ではマスクを外すことを推奨。
- ・ 2歳未満（乳幼児）は、マスク着用を奨めない。
- ・ 本人の意に反してマスクの着脱を無理強いすることのないよう注意。

※学校などにおけるマスク着用の考え方

- ・ 夏場を迎えるにあたり、児童生徒との間隔や会話の有無に留意し、以下のマスク着用が不要な場면을改めて周知。
 - 体育の授業（屋外の運動場に限らず、プールや屋内の体育館などを含む）
 - 運動部活動（体育の授業に準じつつ、各競技団体作成のガイドラインも踏まえて対応）
 - 夏場の登下校時（熱中症対策を優先。公共交通機関利用の場合は着用）
- ・ 2歳以上の未就学児には、人との距離に関わらず、マスク着用を一律には求めない（幼稚園・保育所などで一時的に推奨していた着用方針を解除）。

- ・ 特に、感染事例が多く見受けられる「5つの場面」に注意。

場面1	飲酒を伴う懇親会など（注意力が低下、大声になりやすい）
場面2	大人数や長時間の飲食（2次会・3次会、深夜のはしご酒など）
場面3	マスクなしでの会話（車やバスでの移動の際も要注意）
場面4	狭い空間での共同生活（寮の部屋やトイレなど共用部分に注意）
場面5	居場所の切り替わり（休憩室、更衣室、喫煙室などは要注意）

（2）飲食・移動

- ・ 会食の際は、マスク会食（食事は静かに、会話時はマスク着用）を徹底するとともに、同一グループでの同一テーブル4人まで、2時間以内が目安。
- ・ 感染防止対策が徹底されていない飲食店の利用は避け、「新型コロナ対策実施店舗向けステッカー取得店舗（第三者認証店）」の利用を徹底。
- ・ エアロゾル感染（空中に浮遊するウイルスを吸い込んだ結果感染すること）の防止を一段と強化するための飲食店に対する換気設備工事（これに付随する空気清浄機の購入含む）の支援制度について、6月30日より受付開始。
- ・ 旅行、レジャーに際しては、出発前には薬局などにおける無料検査を活用するなど、移動中・移動先においても、「基本的な感染防止対策」を徹底。

（3）イベント

- ・ 「祭り、イベント等開催に向けた感染拡大防止ガイドライン」に基づき、マスクなどの準備、来場者の連絡先の把握など、感染防止対策を徹底。
- ・ 出店・屋台などを設置する際には、店舗間の距離を保ち、参加者の接触が少なくなるよう配慮。

（4）職場

- ・ のどの痛みや発熱など、少しでも体調が悪い場合は、「休む」「休ませる」対応を徹底。
- ・ あらゆる事業所で、マンパワー不足を想定したBCP（事業継続計画）を再確認。未策定の場合は、早急に策定。
- ・ 事業所ごとに「ぎふコロナガード」（感染対策を監視し、健康状態を確認する責任者）を指定し、全従業員への教育と現場点検を徹底。
- ・ 業種別ガイドラインを遵守。
- ・ 在宅勤務（テレワーク）、時差出勤などにより、人との接触機会を低減。

（5）観光

- ・ “ほっと一息、ぎふの旅”キャンペーン（地域ブロック割）について、全国規模には拡大せず、感染状況を見極めながら、8月末まで延長実施。
- ・ 県内観光関係団体と連携し、国のガイドラインに基づく感染防止対策を徹底した受入体制のもと、添乗員付きのパッケージツアーによる外国人観光客を受入れ。（6月10日開始済み）

2 検査体制及び各施設における対応の強化

(1) 高齢者・障がい者福祉施設における対応

- ・ 施設で感染者が出た場合、直ちに接触者の職員、利用者を幅広く検査するとともに、入所施設においては、感染症対策専門家による早期支援を徹底。
- ・ 施設における検体採取や施設内療養時の往診などを的確に行うため、施設の協力医療機関や地元医療機関との連携を強化。
- ・ 施設職員に対する予防的検査を8月末まで延長するとともに、頻度を上げるなど、感染をより早期発見できるよう検査の実効性を確保。
- ・ 平時及び感染発生初動時における感染対策について、事業者団体と連携し、再点検を徹底。
- ・ 高齢者・障がい者福祉施設の関係団体、感染症対策の専門家、県医師会などを交えた連携会議を開催し、上記の対応強化策について、強力に働きかけ。

(2) 教育現場などにおける対応

- ・ 夏季休業中の感染防止対策を徹底するため、児童生徒や保護者に対するメッセージを発信し、家族全員での感染防止対策を予め周知。
- ・ 部活動における健康観察の徹底（必要に応じて検査も活用）。
- ・ 小学校、幼稚園、保育所などの職員に対する予防的検査を8月末まで延長するとともに、以下の取組みにより積極的な受検を促進。
 - 小学校では、夏季休業明けの学校再開に向け、各学校で計画的に検査を実施
 - 幼稚園、保育所などに対しては、実施施設における検査実施の事例集を作成・配布するとともに、頻度を上げて実施するよう要請
- ・ 幼稚園、保育所などの関係団体との連携会議を開催し、上記の予防的検査の積極的な受検のほか、マスク着用の考え方の周知徹底、感染防止対策にかかるチェックリストの活用徹底などを呼びかけ。

3 ワクチン接種の加速化

(1) 若年層などへの3回目接種を促進

①集中的な広報の実施

- ・ 若年層（10～30代）をはじめ3回目までの接種を行っていない方に対し、あらゆる機会を捉え、「オール岐阜」で集中的な広報を展開。
 - 県による広報（県公式ツイッター、YouTube、新聞広告、テレビなど）
 - 市町村による各種媒体を活用した住民への広報
 - 県内企業や各種団体などによる従業員・会員などへの周知啓発
 - 商業施設など集客施設における周知啓発
 - イベントなどの機会を捉えた周知啓発

②接種しやすい環境整備

- ・ 3回目までの接種を希望する方々が速やかに接種できるよう、市町村において個別接種、集団接種を実施。
- ・ 県大規模接種会場（岐阜産業会館）を8月も開設し、都市部における3回目接種を加速化。
- ・ アレルギーなどでmRNAワクチンを接種困難な方に対して組換えタンパクワクチンであるノババックスワクチンの接種を、岐阜県総合医療センターに加え、県大規模接種会場（岐阜産業会館）においても実施。
（7月23日～。3回目接種に対応）
- ・ 事業所などにおける、ワクチン接種のための休暇の取得など従業員やその家族が接種しやすい環境づくりを依頼。

(2) 重症化リスクの高い方への4回目接種を促進

- ・ 60歳以上の方や18歳以上で基礎疾患のある方に速やかに接種できるよう市町村において個別接種、集団接種を実施。
- ・ 高齢者施設の入所者について、8月までに希望者全員へ接種。
- ・ 接種時期を迎える方（3回目接種から5か月経過）が、速やかに接種を受けられるよう接種券を送付。
- ・ 県大規模接種会場（岐阜産業会館）を8月も開設し、都市部における4回目接種を加速化。
- ・ 事業所などにおける、ワクチン接種のための休暇の取得など従業員やその家族が接種しやすい環境づくりを依頼。（再掲）
- ・ 感染リスクを負いながら業務を行う医療従事者や高齢者施設などの従事者を4回目接種の対象とする国の方針を踏まえて周知及び準備。

療養・検査体制及び感染再拡大時の対応方針

(1) 療養・検査体制

①療養体制

- ・ 病床 897 床、宿泊療養施設 1,998 床、合計で 2,895 床を維持。
- ・ 病院、宿泊療養施設、自宅療養の役割分担による適切な療養体制を継続。
- ・ 退院基準を満たした後も治療が必要な患者を受け入れる「後方支援病床」131 床を確保。関係者間で受入条件などの情報共有を徹底し、効率的に運用。

②自宅療養者支援体制

- ・ 県、岐阜市、看護協会からなる「自宅療養者支援チーム」により、自宅療養者の健康フォローアップ、食料・生活必需品の提供などの支援を実施。
- ・ 全市町村において、県との連携による安否確認や生活物資配送（運送業者ひっ迫時）を実施するほか、状況に応じ市町村独自支援を検討、実施。
※独自支援の取組み事例：食料品・オムツなど日用品の提供、買い物代行、相談窓口設置
- ・ 自宅療養者の症状悪化時には、医師会、訪問看護ステーション連絡協議会、薬剤師会と連携し、適切な医療を提供。
- ・ 協力医療機関(544 機関)、歯科医療提供体制など自宅療養支援体制を堅持。

③検査体制

- ・ 県、市及び診療・検査医療機関による検査体制 17,715 件／日を確保。
- ・ 薬局などにおいて無料検査を受けられる体制を 198 か所確保（8 月末まで期限を延長）。
- ・ お盆期間中の無料検査の需要増加に対応するため、J R 岐阜駅などに臨時の検査拠点を設置。
- ・ 小学校、幼稚園、福祉施設、保育所などの職員に対する予防的検査を実施（8 月末まで期限を延長）。

④新型コロナの後遺症への対応

- ・ 高い専門性と横断的な診療体制を生かし、岐阜大学医学部附属病院において、新型コロナウイルス感染後の後遺症に悩む患者に対する専門外来を実施。

⑤ワクチン接種後の副反応などへの対応

- ・ ワクチン接種後の副反応などに対し、かかりつけ医などと県内中核病院との連携による受診・相談体制を維持。加えて、岐阜大学医学部附属病院による、専門的な知見からの医療機関へのサポートを実施。

(2) 感染再拡大時の対応方針

1日あたりの新規陽性者数が1週間平均700人を超えた場合、以下のとおり対応

①保健所体制の重点化

- ・ 同居家族が感染した際、高齢者、基礎疾患を有する方など、リスクの高い方については行政検査を徹底。
- ・ 高齢者などを多く抱える医療機関、福祉施設においては、濃厚接触者の特定、検査の実施を徹底。
- ・ 10代以下の重症化率は極めて低いことから、学校、幼稚園、保育所などについて検査は基本行わず感染者数などに応じて休校などを施設ごとに判断。
- ・ 事業所については、各事業所において対応。(発熱など症状があれば休める体制の構築を強く要請。)

②イベントなどにおけるワクチン接種歴、陰性の検査結果の活用

- ・ 全国からの参加者が想定される県主催のイベント、県有施設を活用したイベントであって、マスクを外す可能性のあるものについて、参加者・利用者などの「3回ワクチン接種歴」又は「陰性の検査結果」の確認を実施。
- ・ 市町村や民間事業者にも同様の対応を呼びかけ。

③学校における対応

<高等学校>

- ・ 陽性者が1名判明した時点で、一時的に学級閉鎖。
- ・ 学校が直ちに自宅待機要請者を特定し、自宅待機（出席停止）。
- ・ さらに、感染の拡大状況に応じて、学級閉鎖の継続・解除。
- ・ 部活動も同様の基準で、部活動を停止。
- ・ なお、学級閉鎖中の当該学級に在籍する無症状者（自宅待機要請者除く）は、陰性確認を条件に、部活動公式大会への参加を認める。

<特別支援学校>

- ・ 高等学校の基準を踏まえつつ、児童・生徒の状況に応じて柔軟に対応。

<小中学校、幼稚園、保育所など>

- ・ 高等学校の基準を踏まえつつ、各施設の実情に応じて判断。

更なる感染拡大が生じた場合、以下のとおり対応

①保健所体制の重点化

○1日あたりの新規陽性者数が1週間平均千人を超えた場合

- ・ 個別陽性者への保健所による聞き取り調査を高齢者や基礎疾患がある方など、ハイリスクの方に重点化。
- ・ 濃厚接触者などに対する保健所による検査は、「医療機関・福祉施設」のみに重点化。

②自宅療養支援の重点化

○1日あたりの新規自宅療養者数が千人を超えた場合

- ・ 健康観察については、重症化リスクの高い方に重点化。
- ・ 食料品、日用品については、家族全員が陽性の場合や1人暮らしの方など外出が困難な場合などに配布。（併せて、食料品などの備蓄を呼びかけ。）

岐阜市新型コロナウイルス感染症対策本部会議席表

2022年7月15日

